

(仮称) 青森市環境基本計画策定に係る市民・事業者アンケート調査結果の概要

1 調査目的

市民や事業者の環境問題に対する意識や関心、環境に関して取り組んでいる状況等を把握し、(仮称) 青森市環境基本計画の策定に当たっての参考資料とすることを目的とする。

2 調査概要

調査対象	市民	事業者
抽出条件	市内に在住する満 16 歳以上の全市民から無作為抽出	市内に営業所を有する事業者から無作為抽出
調査期間	令和 8(2026)年 5 月 12 日(火)～6 月 1 日(月)まで	
調査方法	配付方法:調査票の郵送 回収方法:返信用封筒での郵送又は電子申請システムによる WEB 回答	
配付数	1, 100	1, 000
回答数 (回答率)	543(49.4%) ※郵送:318、WEB:225	556(55.6%) ※郵送:286、WEB:270

※各アンケート調査結果は、小数点第 2 位を四捨五入のうえ割合を示しているため、合計値が 100.0%とならない場合があります。

3 市民アンケート調査結果

<目 次>

(1) 回答者属性(年齢、居住年数、居住地域)	P1
(2) 調査結果内容	
①環境問題等についての関心度	P2
②日常生活における環境へ配慮した行動の取組状況	P3
③環境に関する情報の入手方法	P4
④現在の青森市の環境に関する状況や取組への満足度・重要度	P5
⑤青森市の良好な環境を将来の世代へ引継ぐため、あなた自身はどのようなことに 取り組みたいか。(自由記載)	P10

(1) 回答者属性

[年齢]

10 歳代	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上	無回答
10 (1.8%)	25 (4.6%)	56 (10.3%)	74 (13.6%)	96 (17.7%)	99 (18.2%)	176 (32.4%)	7 (1.3%)

[居住年数]

1 年未満	1 年以上～ 10 年未満	10 年以上～ 20 年未満	20 年以上～ 30 年未満	30 年以上	無回答
5 (0.9%)	33 (6.1%)	55 (10.1%)	65 (12.0%)	378 (69.6%)	7 (1.3%)

[居住地域]

東地区	中央地区	南地区	西地区	東部地区 A	東部地区 B
143 (26.3%)	45 (8.3%)	120 (22.1%)	110 (20.3%)	17 (3.1%)	15 (2.8%)
南東部地区	西部地区	南部地区	北部地区	浪岡地区	無回答
22 (4.1%)	20 (3.7%)	12 (2.2%)	6 (1.1%)	27 (5.0%)	6 (1.1%)

(2) 調査結果内容

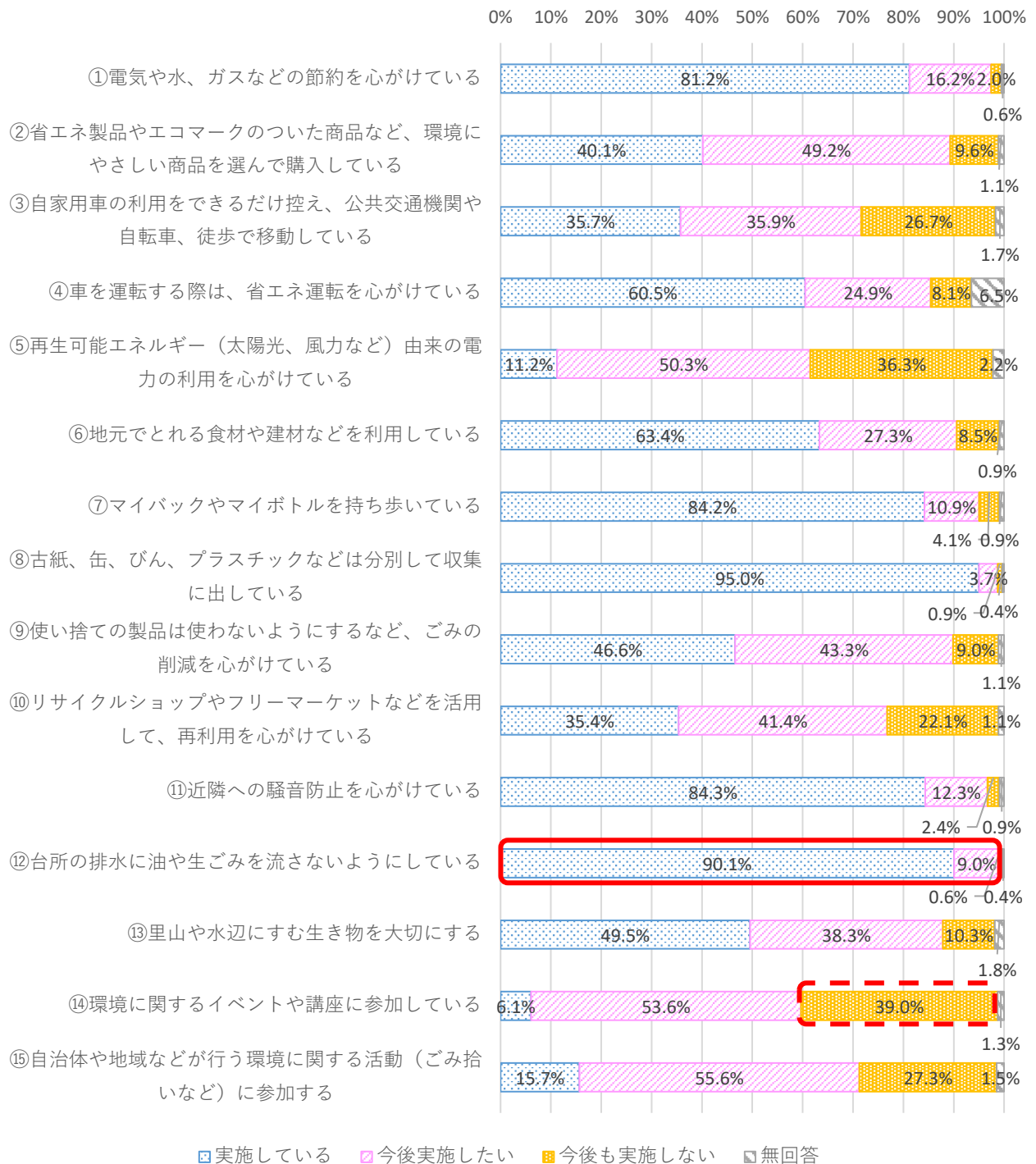
① 環境問題等についての関心度

「非常に関心がある」又は「関心がある」と回答した割合については、「⑧地域の生活環境に係る被害」が85.2%と高くなっており、次いで「①地球温暖化や気候変動などの地球環境問題」が83.8%となっています。



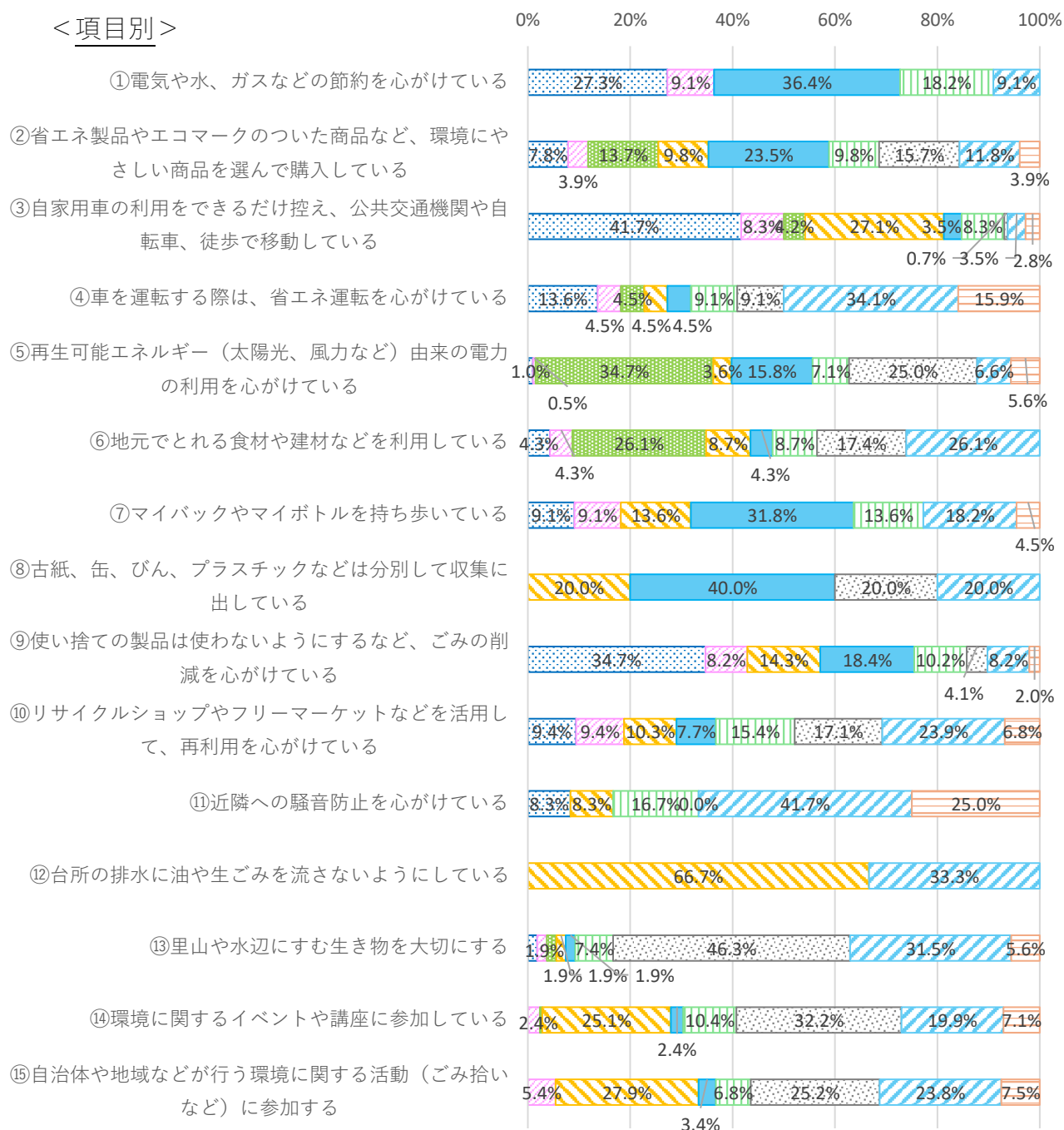
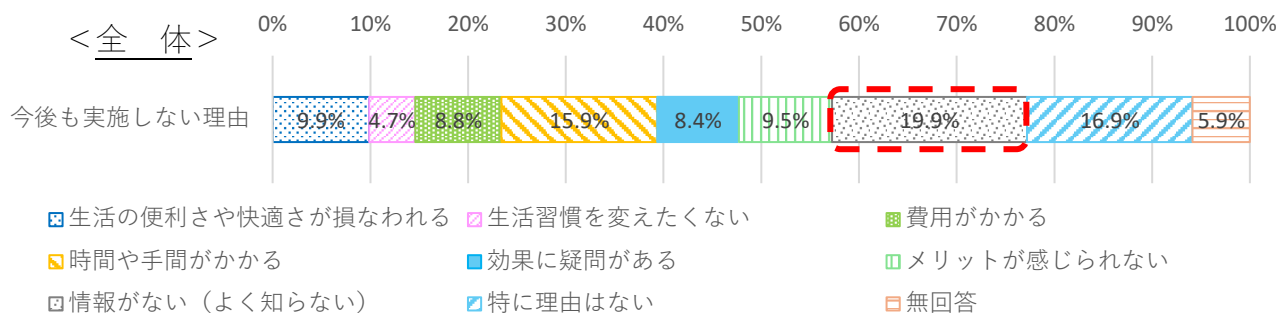
② 日常生活における環境へ配慮した行動の取組状況

- 「実施している」又は「今後実施したい」と回答した割合については、「⑫台所の排水に油や生ごみを流さないようにしている」が99.1%と最も高く、次いで「⑧古紙、缶、びん、プラスチックなどは分別して収集に出している」が98.7%となっている。
- 「今後も実施しない」については、「⑭環境に関するイベントや講座に参加している」が39.2%と最も高く、次いで「⑤再生可能エネルギー由来の電力の利用を心がけている」が36.4%となっている。



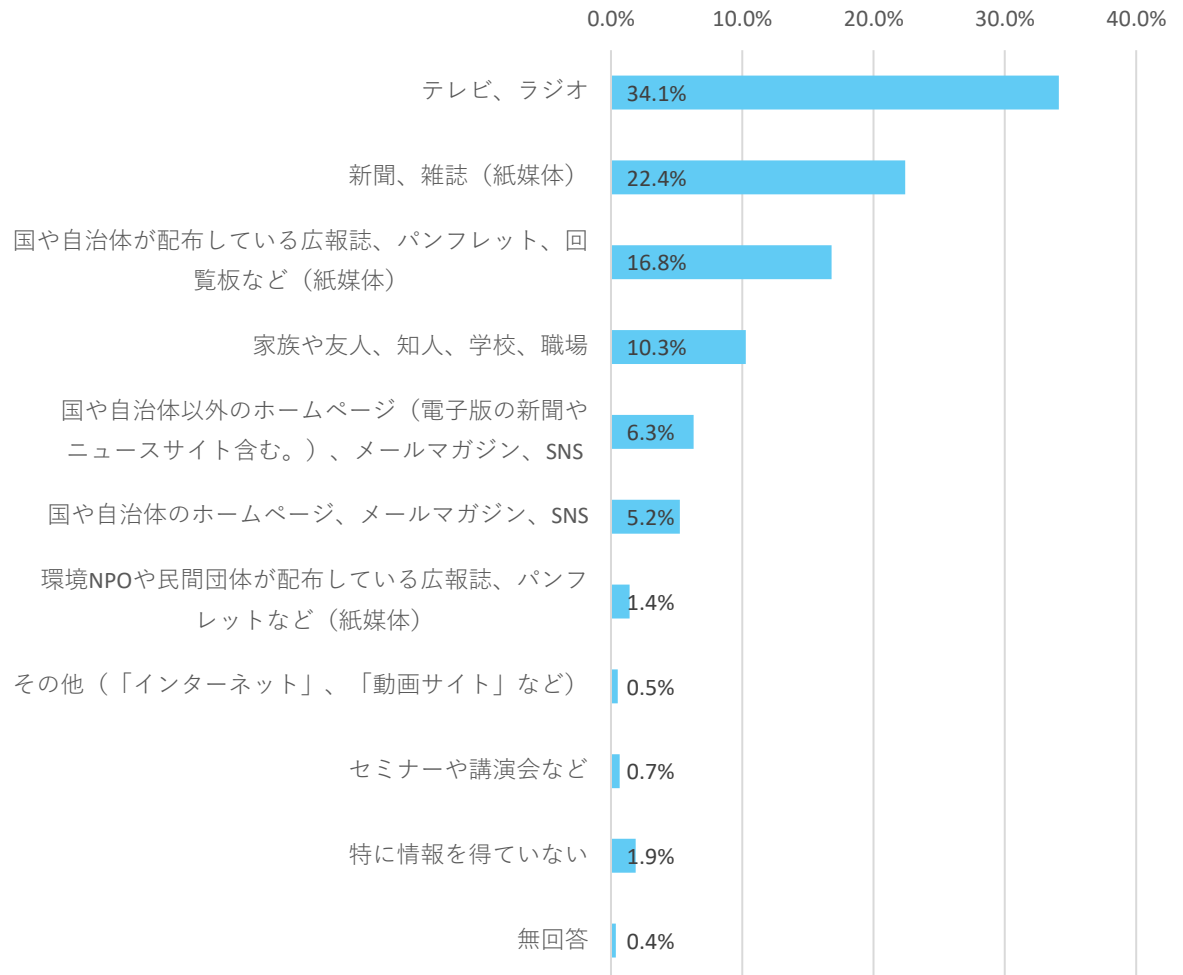
※②で「今後も実施しない」と回答した理由

「今後も実施しない」と回答した理由の割合について、「情報が無い（よく知らない）」が19.9%と高くなっており、次いで「特に理由がない」が16.9%となっています。



③ 環境に関する情報の入手方法

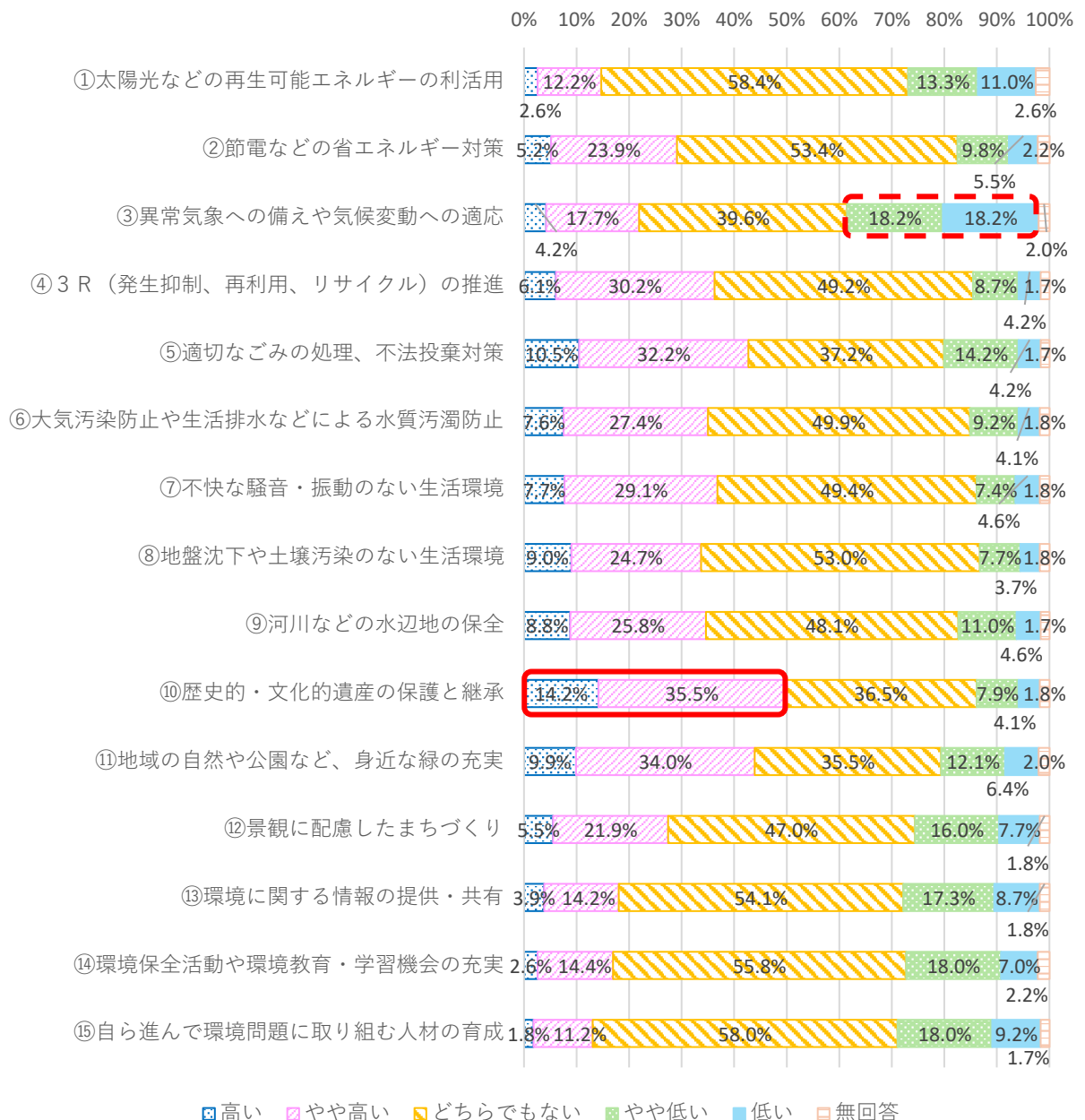
情報の入手方法については、「テレビ、ラジオ」が34.1%と高くなっており、次いで「新聞、雑誌（紙媒体）」が22.4%となっています。



④ 現在の青森市の環境に関する状況や取組への満足度・重要度

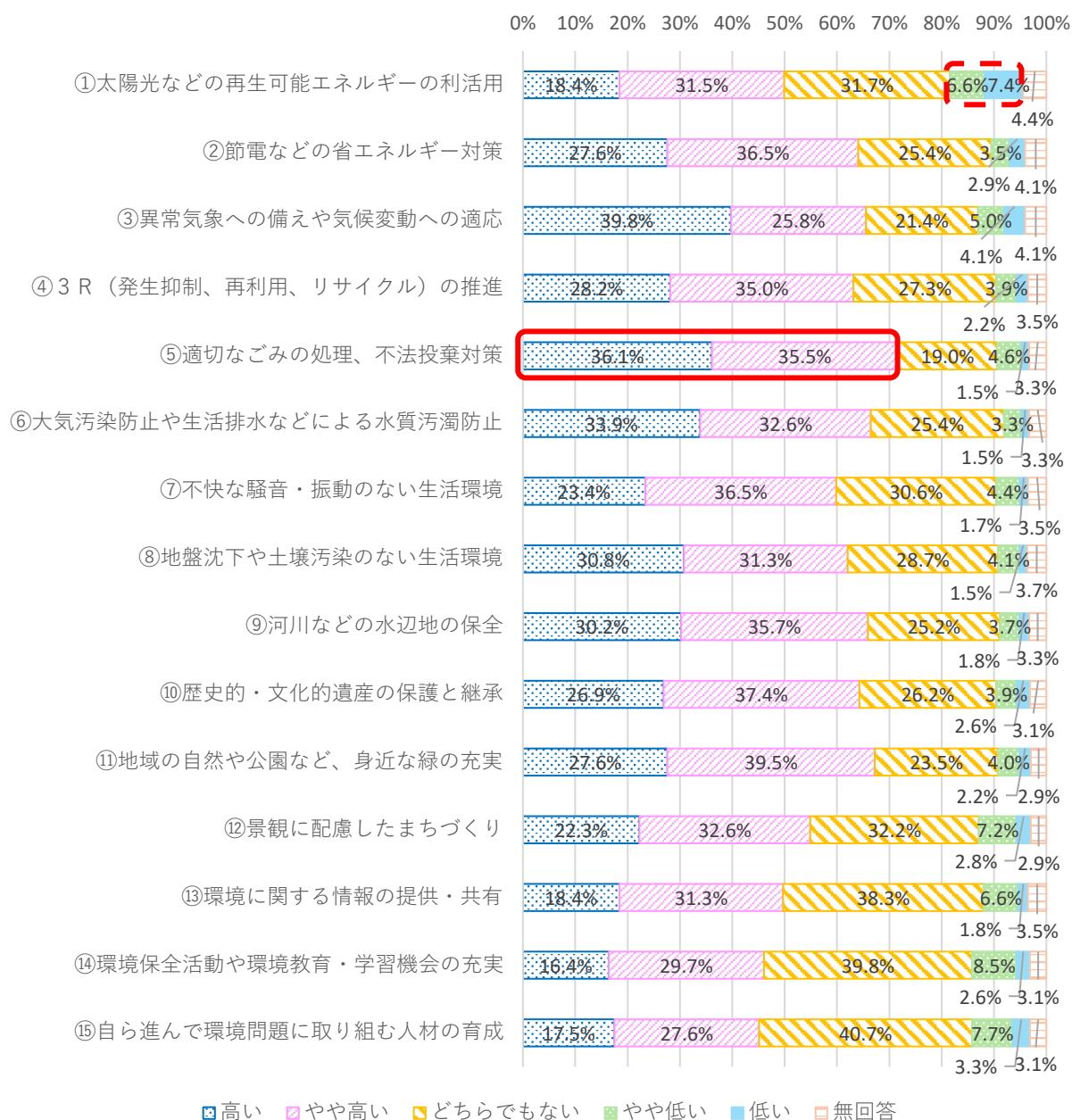
[満足度]

- 「高い」と「やや高い」については、「⑩歴史的・文化的遺産の保護と継承」が49.7%と最も高く、次いで「⑪地域の自然や公園など、身近な緑の充実」が43.9%、「⑤適切なごみの処理、不法投棄対策」が42.7%となっている。
- 「低い」と「やや低い」については、「③異常気象への備えや気候変動への適応」が36.4%と最も高く、次いで「⑮自ら進んで環境問題に取り組む人材の育成」が27.3%、「⑬環境に関する情報の提供・共有」が26.0%となっている。



[重要度]

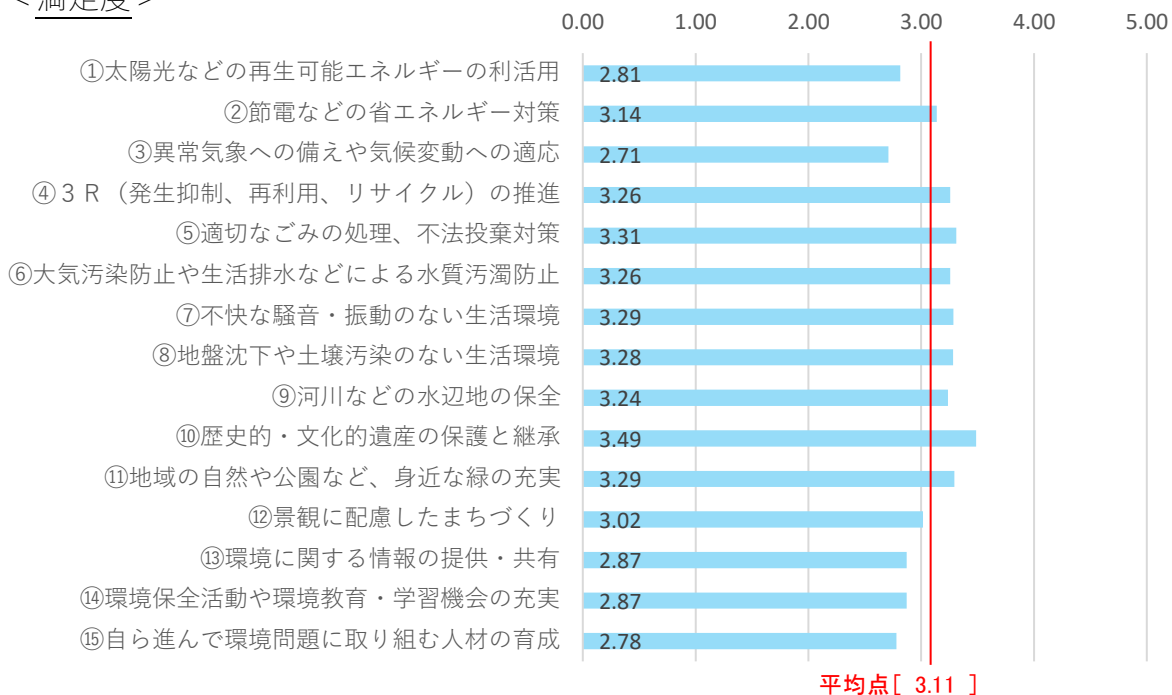
- 「高い」と「やや高い」については、「⑤適切なごみの処理、不法投棄対策」が71.6%と最も高く、次いで「⑪地域の自然や公園など、身近な緑の充実」が67.1%、「⑥大気汚染防止や生活排水などによる水質汚濁防止」が66.5%となっている。
- 「低い」と「やや低い」については、「①太陽光などの再生可能エネルギーの利活用」が14.0%と最も高く、次いで「⑭環境保全活動や環境教育・学習機会の充実」が11.1%、「⑮自ら進んで環境問題に取り組む人材の育成」が11.0%となっている。



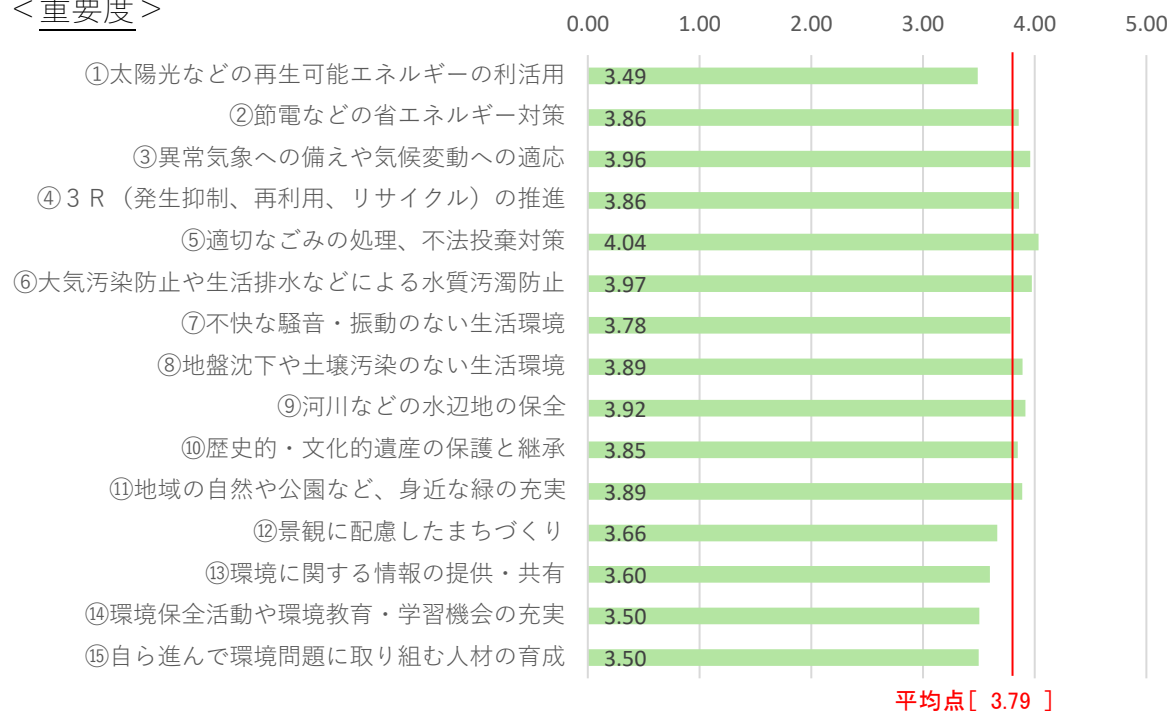
[満足度・重要度の点数化]

- ・回答数について「高い」を5点, 「やや高い」の回答数を4点, 「どちらともいえない」を3点, 「やや低い」を2点, 「低い」を1点とし, それらの合計値を回答者数(無回答を除く)で割ったものを点数として扱います。
- ・数値が大きい施策・取組は, 満足度・優先度が高いことを示しています。

< 満足度 >



< 重要度 >

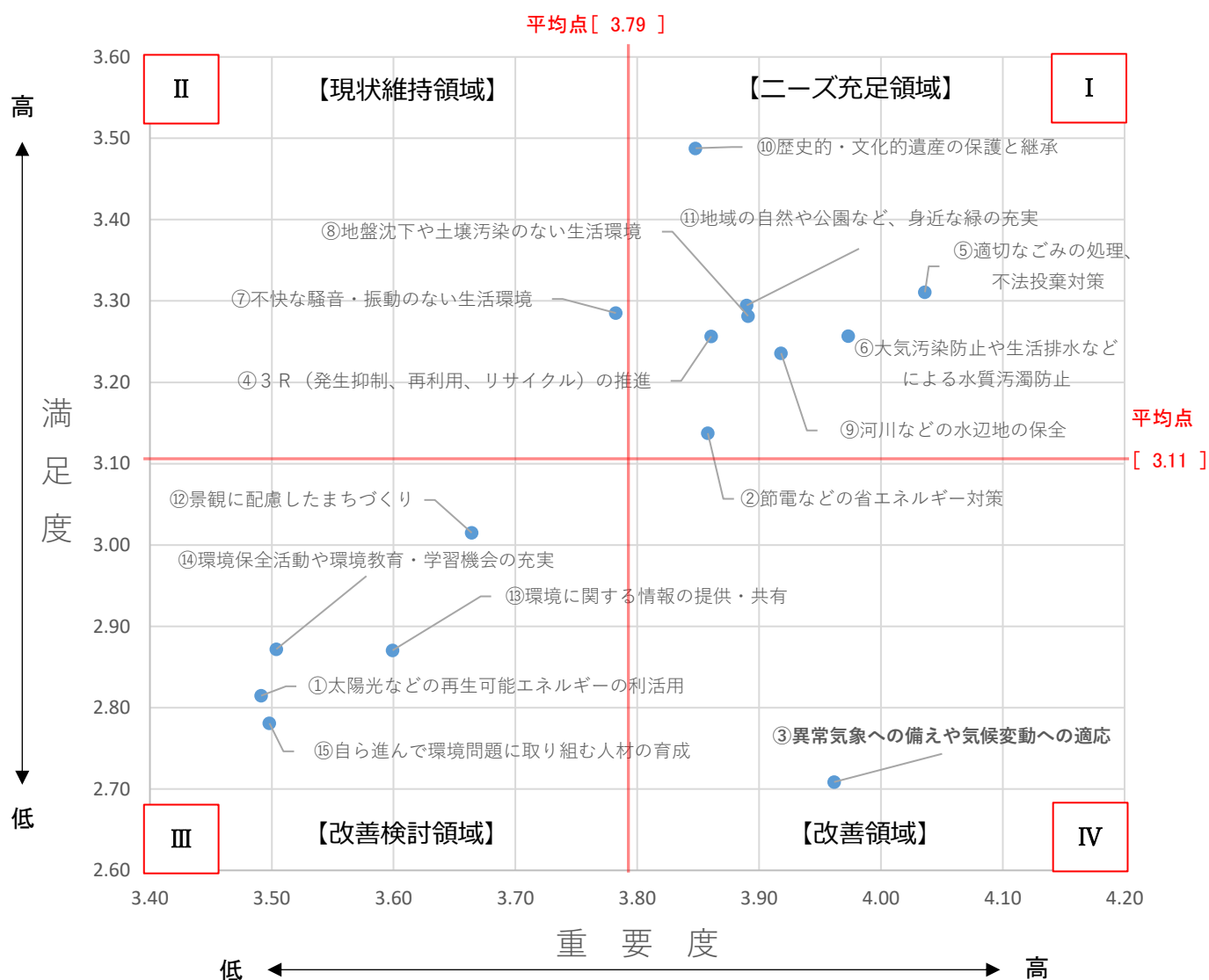


[満足度・重要度の分析]

満足度・重要度の結果を併せて総合的にみるために、縦軸に満足度、横軸に重要度の2次元グラフで表示して合わせてみることで、満足度と重要度の関係について分析します。それぞれのエリアの詳細は次のとおりです。

<カテゴリ>

- 【Ⅰ】 満足度が高く、重要度も高い 【Ⅱ】 満足度が高く、重要度が低い
 【Ⅲ】 満足度が低く、重要度も低い 【Ⅳ】 満足度が低く、重要度が高い



○カテゴリ【Ⅳ】に分類される「③異常気象への備えや気候変動への適応」について、満足度が低く、重要度が高いものであるため、サービス改善のニーズが高いと考えられます。

⑤ 青森市の良好な環境を将来の世代へ引継ぐため、あなた自身はどのようなことに取り組みたいか。（自由記載）

[主な回答]

- ・環境保全に関する情報にアンテナを張り巡らせて、日常生活でも気を付けたり、市民講座等にも参加して、環境保全に努めていきたい。
- ・電気や水が無駄使いしない、食品ロスをなくす、ごみを減らす、分別をしっかりとするなど、自分でもできる SDGs を続けていきたい。
- ・家でできること（節電、節水、ごみの分別など）子供と一緒に取り組んでいきたい。
- ・私は高校生なので自分に出来る事は限られていると思いますが、自家用車を利用せず公共交通機関や徒歩で移動したりリサイクル資源の収集に協力することなどは出来る事だと思うのでこれらのように小さなことから少しずつ実践してみようことを意識していきたい。
- ・今在るものを大切にしたい。特に自然環境豊かで恵まれており四季が感じられるというのは誇れること。無くなってから気づくことのないように想像力を育んでいきたい。
- ・今回のアンケートに回答してみて、環境に関して自分がおもっていたより関心を持っていなかったことが分かったので、まずは知ることから始めたい。

など

4 事業者アンケート調査結果

<目 次>

(1) 回答者属性（業種、従業員数）	P11
(2) 調査結果内容	
①環境に関する担当部署等の設置状況	P11
②事業活動における環境へ配慮した行動の取組状況	P12
③環境問題に対する対策や取組を実施する理由	P14
④環境に関する情報の入手方法	P14
⑤現在の青森市の環境に関する状況や取組への満足度・重要度	P15
⑥青森市の良好な環境を将来の世代へ引継ぐため、貴事業所ではどのようなことに取り組みたいか。（自由記載）	P19

(1) 回答者属性

[業種]

農業、林業	鉱業、採石業、 砂利採取業	建設業	製造業	電気・ガス・ 熱供給・水道業	情報通信業
3 (0.5%)	2 (0.4%)	189 (34.0%)	40 (7.2%)	17 (3.1%)	5 (0.9%)
運輸業、 郵便業	卸売業、 小売業	金融業、 保険業	不動産業・、 物品賃借業	学術研究、専門・ 技術サービス業	宿泊業、 飲食サービス業
23 (4.1%)	119 (21.4%)	3 (0.5%)	3 (0.5%)	31 (5.6%)	8 (1.4%)
生活関連サービ ス業、娯楽業	教育、 学習支援業	医療、福祉	サービス業	その他	無回答
10 (1.8%)	1 (0.2%)	8 (1.4%)	66 (11.9%)	23 (4.1%)	5 (0.9%)

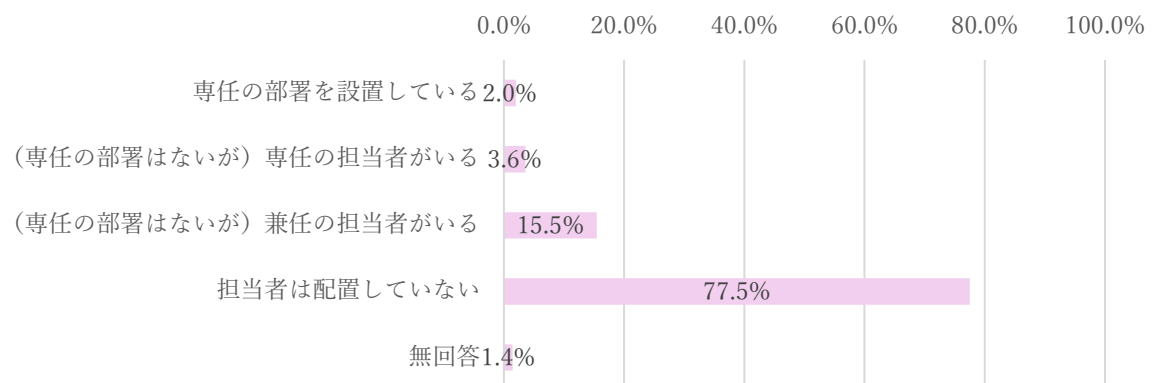
[従業員数]

1人～10人	11人～50人	51人～100人	101人以上	無回答
282 (50.8%)	204 (36.7%)	33 (5.9%)	32 (5.8%)	5 (0.9%)

(2) 調査結果内容

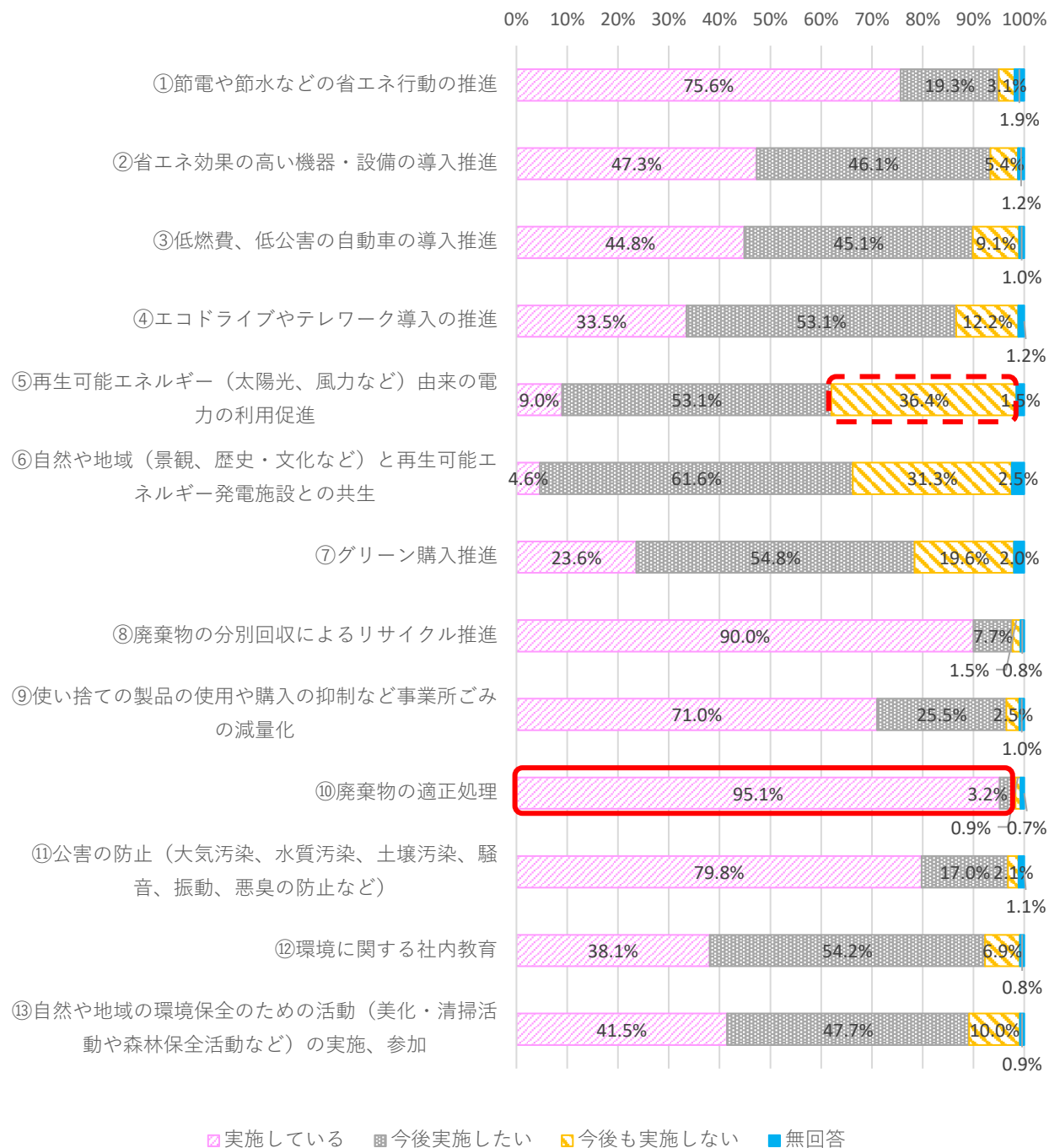
① 環境に関する担当部署等の設置状況

○専任の部署の設置又は専任・兼任の担当者がいるとの回答した合計が21.1%となっているが、「担当者を配置していない」が77.5%と高い状況となっている。



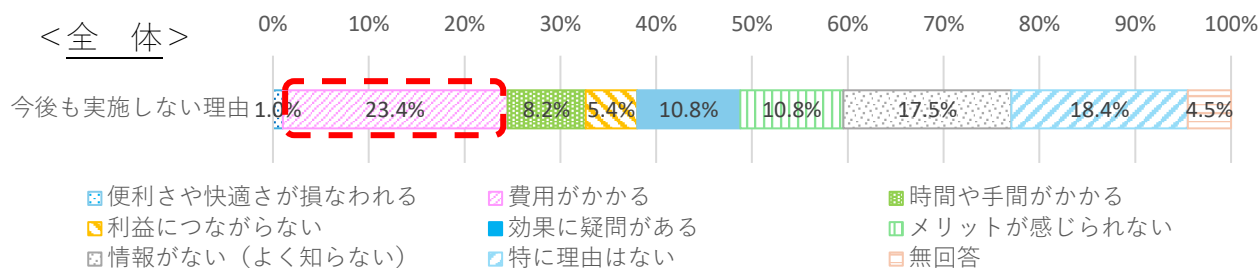
② 事業活動における環境へ配慮した行動の取組状況

- 「実施している」又は「今後実施したい」については、「⑩廃棄物の適正処理」が98.3%と最も高く、次いで「⑧廃棄物の分別回収によるリサイクル推進」が97.7%となっている。
- 「今後も実施しない」については、「⑤再生可能エネルギー（太陽光、風力など）由来の電力の利用促進」が36.4%と最も高く、次いで「自然や地域（景観、歴史・文化など）と再生可能エネルギー発電施設との共生」が31.3%となっている。

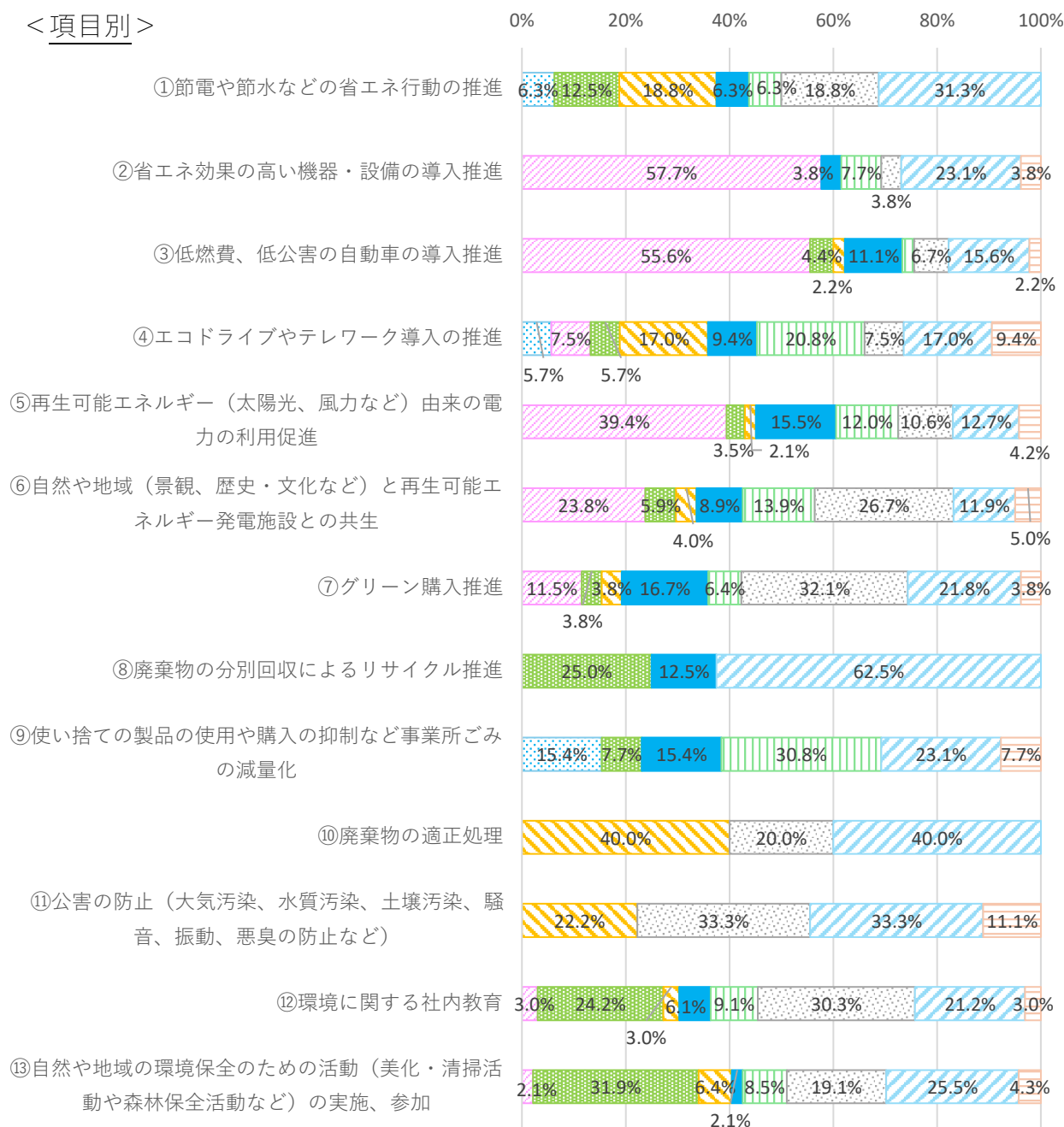


※②で「今後も実施しない」と回答した理由

「今後も実施しない」と回答した理由の割合について、「費用がかかる」が23.4%と高くなっており、次いで「情報がない（よく知らない）」が18.4%となっています。

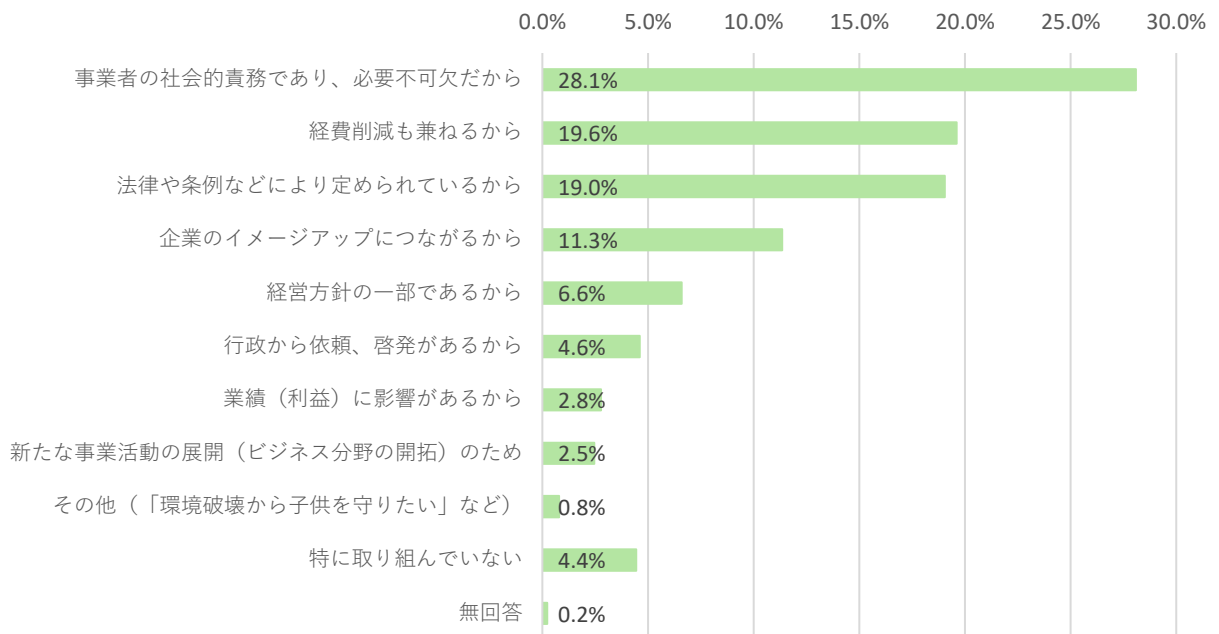


<項目別>



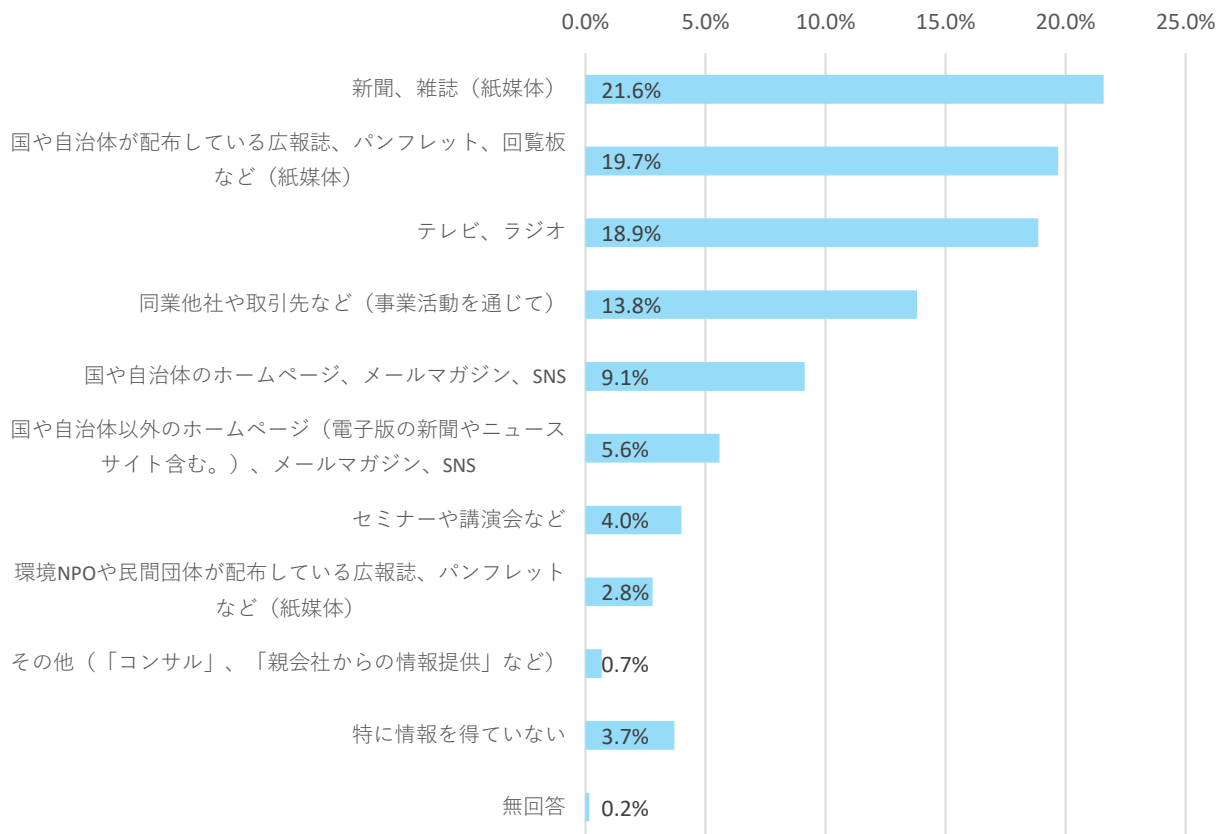
③ 環境問題に対する対策や取組を実施する理由

実施する理由については、「事業者の社会的責務であり、必要不可欠だから」が28.1%と高くなっており、次いで「経費削減も兼ねるから」が19.6%となっています。



④ 環境に関する情報の入手方法

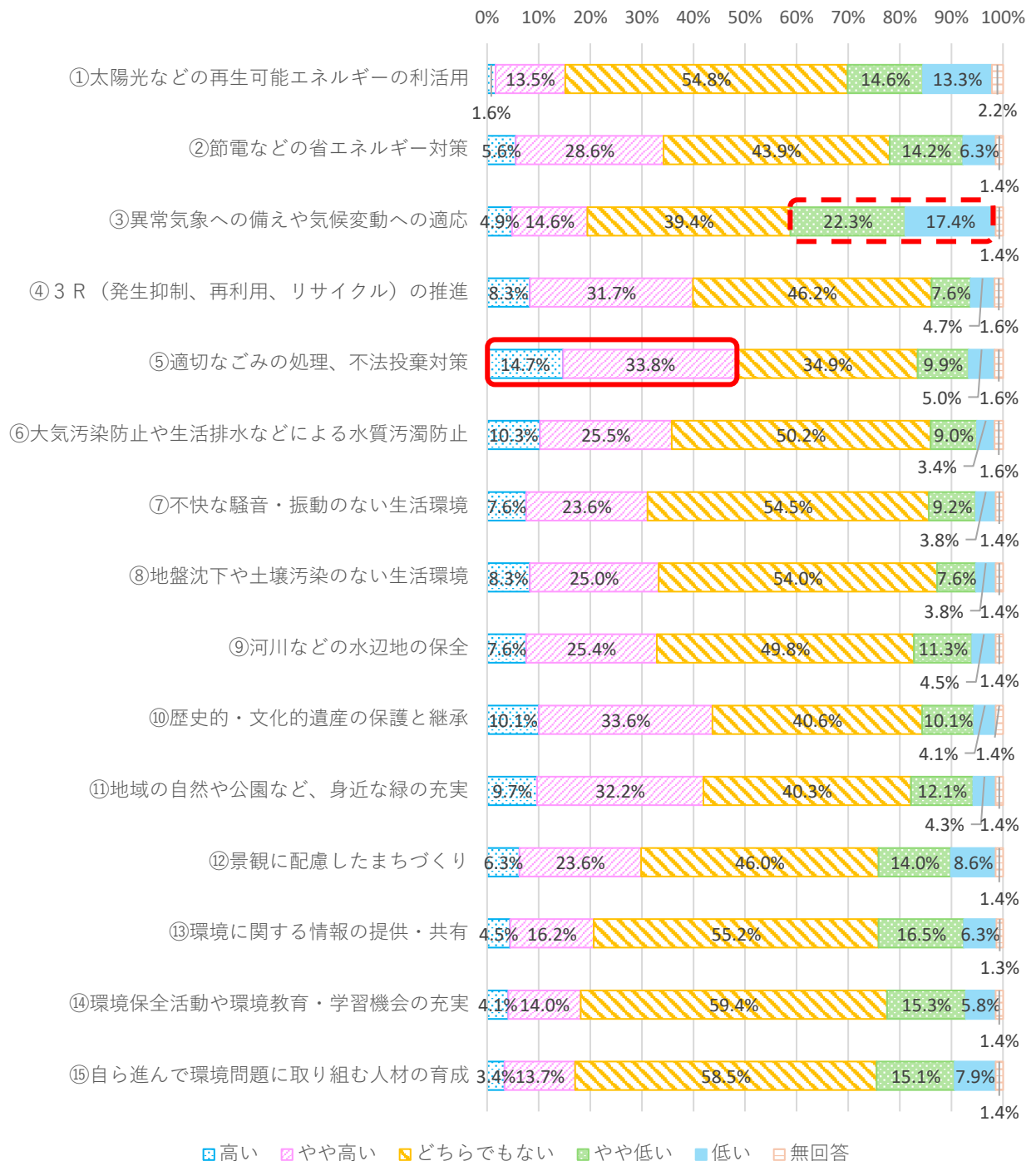
情報の入手方法については、「新聞、雑誌（紙媒体）」が21.6%と高くなっており、次いで「国や自治体が配付している広報誌、パンフレット、回覧板など」が19.7%となっています。



⑤ 現在の青森市の環境に関する状況や取組への満足度・重要度

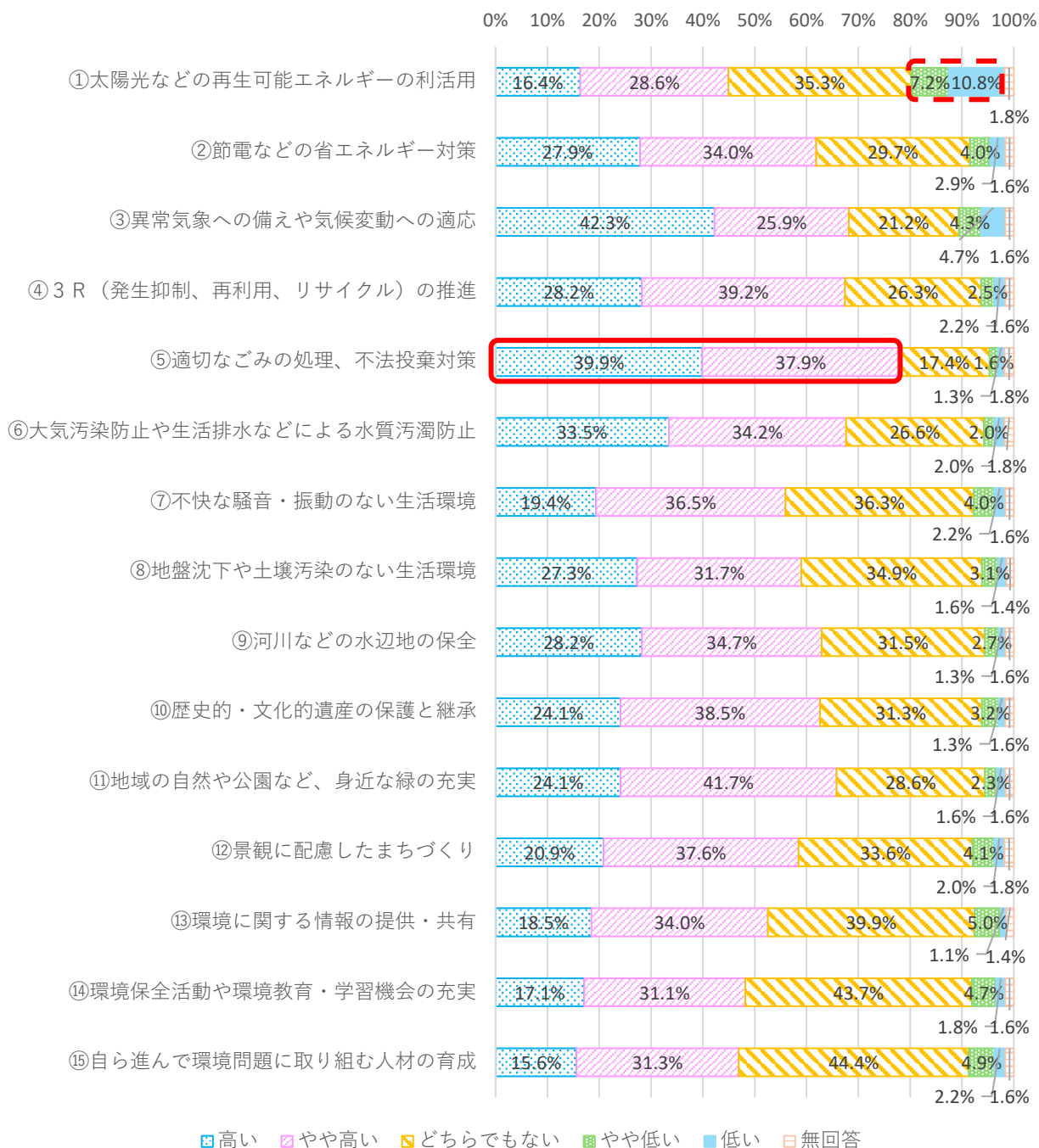
[満足度]

- 「高い」と「やや高い」については、「⑤適切なごみの処理、不法投棄対策」が48.5%と最も高く、次いで「⑩歴史的・文化的遺産の保護と継承」が43.7%、「⑪地域の自然や公園など、身近な緑の充実」が41.9%となっている。
- 「低い」と「やや低い」については、「③異常気象への備えや気候変動への適応」が39.7%と最も高く、次いで「①太陽光などの再生可能エネルギーの利活用」が27.9%、「⑮自ら進んで環境問題に取り組む人材の育成」が23.0%となっている。



[重要度]

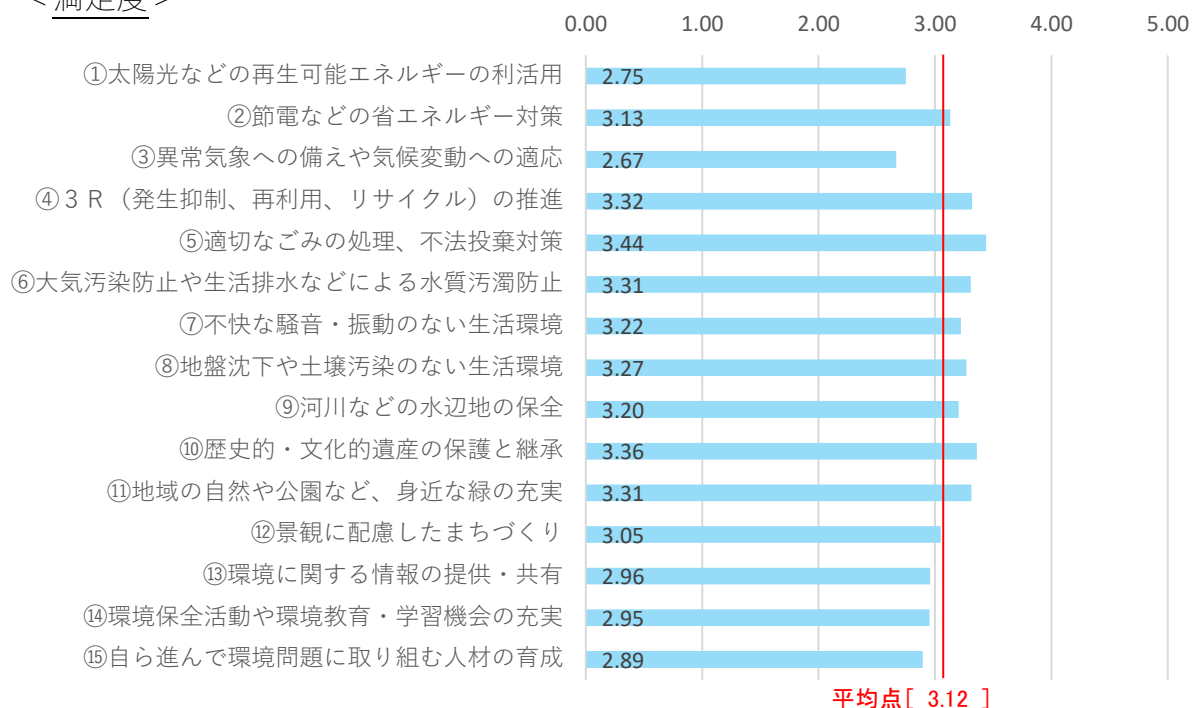
- 「高い」と「やや高い」については、「⑤適切なごみの処理、不法投棄対策」が77.8%と最も高く、次いで「③異常気象への備えや気候変動への適応」が68.2%、「⑥大気汚染防止や生活排水などによる水質汚濁防止」が67.7%となっている。
- 「低い」と「やや低い」については、「①太陽光などの再生可能エネルギーの利活用」が18.1%と最も高く、次いで「③異常気象への備えや気候変動への適応」が9.0%、「⑮自ら進んで環境問題に取り組む人材の育成」が7.0%となっている。



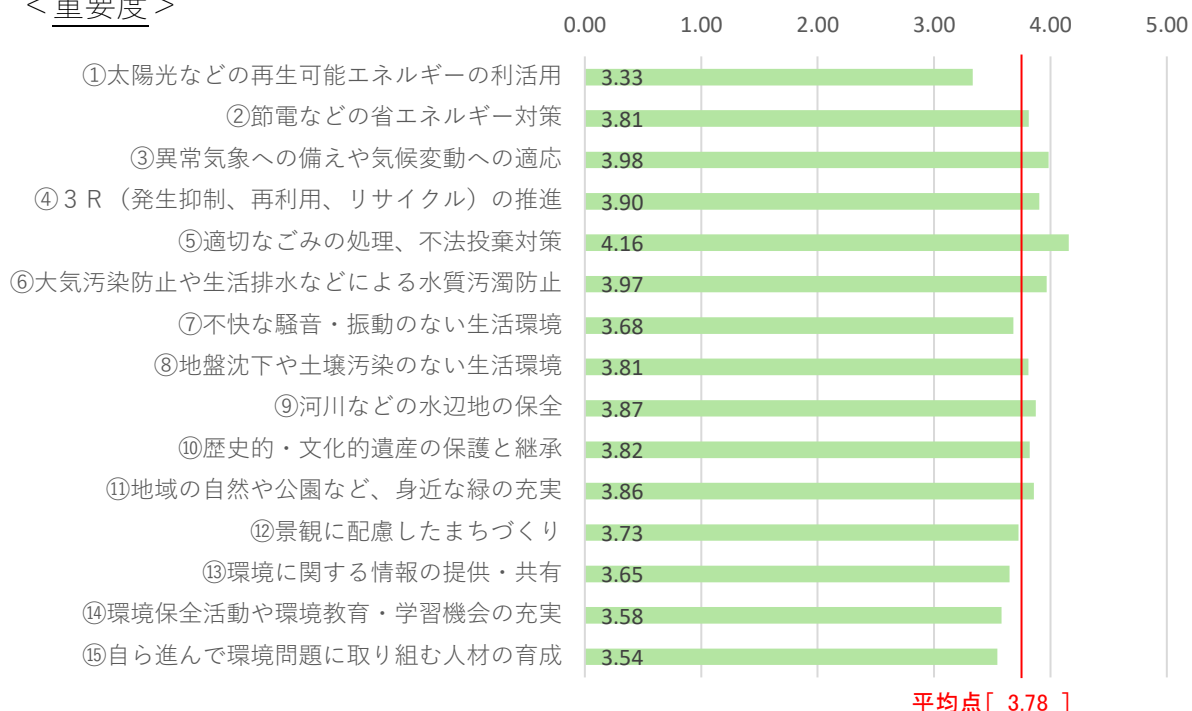
[満足度・重要度の点数化]

- ・回答数について「高い」を5点, 「やや高い」の回答数を4点, 「どちらともいえない」を3点, 「やや低い」を2点, 「低い」を1点とし, それらの合計値を回答者数(無回答を除く)で割ったものを点数として扱います。
- ・数値が大きい施策・取組は, 満足度・優先度が高いことを示しています。

< 満足度 >



< 重要度 >



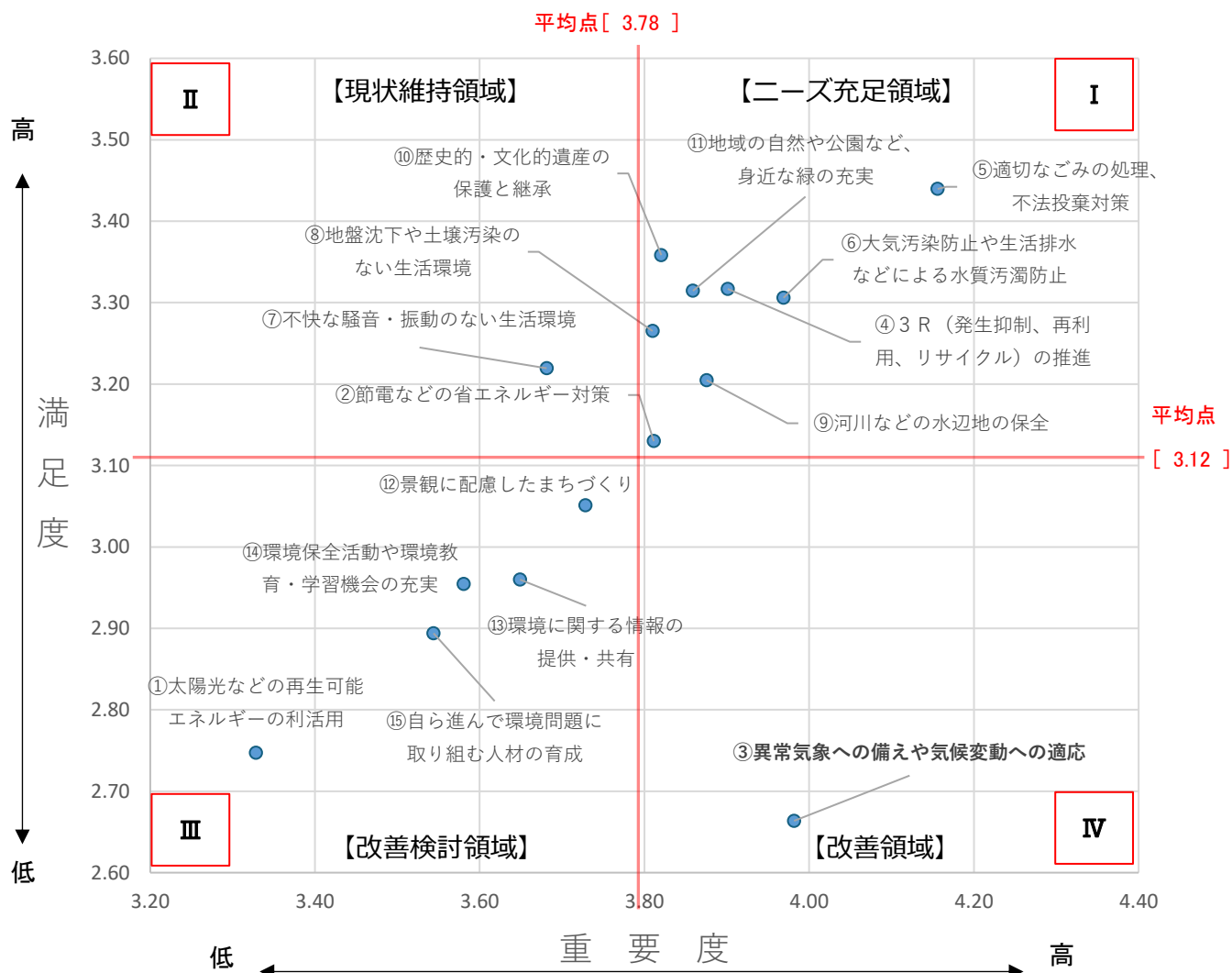
[満足度・重要度の分析]

満足度・重要度の結果を併せて総合的にみるために、縦軸に満足度、横軸に重要度の2次元グラフで表示して合わせてみることで、満足度と重要度の関係について分析します。それぞれのエリアの詳細は次のとおりです。

<カテゴリ>

【Ⅰ】 満足度が高く、重要度も高い 【Ⅱ】 満足度が高く、重要度が低い

【Ⅲ】 満足度が低く、重要度も低い 【Ⅳ】 満足度が低く、重要度が高い



○カテゴリ【Ⅳ】に分類される「③異常気象への備えや気候変動への適応」について、満足度が低く、重要度が高いものであるため、サービス改善のニーズが高いと考えられます。

⑥ 青森市の良好な環境を将来の世代へ引継ぐため、貴事業所ではどのようなことに取り組みたいか。（自由記載）

[主な回答]

- ・定期的に地域の活動に会社全体で参加したり、ボランティアを積極的に行ったり、従業員が充実感の持てるような活動を教えて会社ぐるみで実施したい。
- ・地元企業として青森市の大気汚染や地球温暖化抑制のための建設機械の新設など、環境に配慮した工事施工をしていきたいと思います。
- ・3Rに携わる事業を営んでいるため、仕事を通じて特に将来世代の市民を対象に通常業務の枠を超えて広報活動を行っていきたい。環境を仕事とする担い手を増やすことも持続可能な会社経営の一端だと認識している。
- ・貴重な文化や風土、景観を守り、心豊かな社会をつくる仕事に取り組みたい。
- ・当社はビルメンテナンス業であり、建物内・外・の環境、美観を課題とした社員研修を行っており、引き続き取り組んでいきたい。
- ・社内においての環境へ配慮した行動を小さなことからでも継続して取り組んでいく（誰でも簡単に毎日できる節電、節水、リサイクル、ゴミ削減、等）

など